

## もくじ

飯山市栄誉賞表彰式を実施	2ページ
飯山市自立のための計画策定	4～5
介護保険制度の改正点	6～7
在宅福祉サービス利用申請手続きを	8
健全な財政運営のための事業見直し案	9
住宅用火災警報器を設置しましょう	10
犬の登録と狂犬病予防注射	11
おたつしや通信く健康・生きがい	12

## 飯山市栄誉賞表彰式を実施 スキーで活躍の各選手を表彰

市では表彰条例に基づき、3月7日、スポーツの分野で顕著な成績を挙げた方、または学術・芸術等で文化の興隆に貢献された方で、市民に明るい希望を与えた方に贈る栄誉賞の表彰式を市役所で行いました。



今回受賞されたのは、▽作山憲斗さん(第2中学校・第43回全国中学校スキー大会スペシャルジャンプ優勝)、▽丸山未紀さん(飯山南高校・第55回全国高等学校スキー大会女子10kmフリー優勝)、▽飯山南高等学校(第55回全国高等学校スキー大会女子総合優勝)、▽山室忠さん(飯山市スキークラブ・第



61回国民体育大会冬季大会スキー競技会クロスカントリー成年男子A優勝↓3連覇、右写真)の各選手。

表彰式では、選手のご家族や学校関係者が見守る中、木内市長が「豪雪災害で苦しむ飯山市民に明るい希望を与えてくれた」と式辞を述べるとともに、表彰状を手渡しして各選手の栄誉をたたえました。

なお、山室忠さんは、各種スキー大会を転戦中のため同日は欠席し、3月13日にあらためて表彰式を行いました。受賞者の皆さんの今後の活躍をお祈り申し上げます。

## 飯山赤十字病院の医師不足問題 脳神経外科・耳鼻咽喉科の医師3人を確保

飯山赤十字病院で医師不足が深刻な課題となっており、4月から、脳神経外科2人と耳鼻咽喉科1人の計3人の医師を確保できることになりました。

今回、招聘が実現したのは、現在常勤1名体制の脳神経外科と非常勤の耳鼻咽喉科。特に、脳神経外科では昨年の4月から1名の減員となり、救急医療に支障を来していました。

川村病院長は、「近い将来、脳神経外科にもう一人増員できる見込みがある。ICUに関しては、半年あ

るいは1年後をめどに、体制が整い次第、再開できればいいと考えている」と話していました。

依然、他の診療科では医師不足が続いていますので、今後も病院側と連携を深めながら、市として可能な対応策を協議して行っていく予定です。

## 戸狩小児童が車椅子を千曲荘に寄贈

戸狩小学校の児童会が、ベルマークを集めて交換した車椅子1台を千曲荘に贈りました。

3月7日には、戸狩小ボランティア委員会の役員4人が児童を代表して千曲荘を訪れ、贈呈式が行われました。千曲荘利用者を代表して小島ヒロさんが「すばらしい心の結晶を形としていただき、とてもうれしい。ずっと大事に使います」とお礼のあいさつ

をすると、児童は「これから地域の皆さんに役立てるよう活動していきたいと思います」と答えていました。

贈呈式に先立ち、戸狩小学校の音楽クラブ18名による楽器の演奏や合唱が行われ、利用者の皆さんは美しい音楽に耳を傾けていました。戸狩小では、これまで洗濯機や長椅子等を千曲荘に贈っており、地道な活動がたくさんの実を結んでいます。



## 豪雪災害に際し義援金を頂きました

豪雪災害に際し、以下の方々から市に対して義援金を頂いています(敬称略・順不同)ご厚意に深く感謝申し上げます。

- ▽(財)全国市有物件災害共済会：5万円
- ▽大阪市職員有志：10万円
- ▽匿名：5千円
- ▽飯山ライオンズクラブ：60万円
- ▽学校法人文化学園：300万円
- ▽ニッセイ同和損害保険(株)・同組合：8万4980円
- ▽(株)SSV西友：60万円
- ▽全国市議会議長会：5万円
- ▽匿名：10万円
- ▽藤沢進：5万円(2月3日現在)



④文化学園の学生から、文化祭の収益金の一部を義援金として頂いた。

## 時の話題

木内市長から

### 第22回 頑張ろう飯山



昨年12月からの豪雪災害対策に振り回されてきたこの冬でしたが、そんな中であって大変元気づけられ、勇気づけられたことがありました。そのひとつは市内の除排雪作業に県内外から700人を超えるボランティアの方々がかけつけていただいたことです。慣れない手つきで終日作業にあたっていただいたその姿には、本当に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

もうひとつの元気づけられたこと、それは雪まつりの開催でした。24回目を迎えるこの冬の雪まつりは豪雪災害で開催が危ぶまれておりましたが、実行委員会である市商工会議所青年部の皆さんが、こういう大変な時こそ雪まつりを開催し、「頑張ろういいやま」、「頑張っているぜいいやま」を情報発信したいとの熱い思いを雪まつり市民協議会で訴え、開催の運びとなりました。

雪まつり会場や市内各地にはやや数は減らしたものの市民や小中学生の参加を得て、素晴らしい雪像がつくられ大勢の見学者でにぎわいました。雪像を見に会場を訪れた市民の皆さんを拝見すると、日常の雪との闘いに疲れの色は残るものの、何かほっとされている顔が多かったように思えました。

今回の雪まつりは、開催して本当に良かったと思います。市民に元気を与えていただいた実行委員会の皆さんに心から敬意と感謝を申し上げます。

このほか、市内ではかまくらまつりも開催され大勢の皆さんが見学に訪れていました。史上例のないような豪雪に市民生活は本当に大変であったわけですが、そんな中であって音も上げず頑張っている「いいやま」の姿を内外に発信できたことを喜び、お取り組みいただいた市民の皆様に心から御礼を申し上げます。春はすぐそこまでやっています。

(※「時の話題」は、今月号をもって終了させていただきます。長い間のご愛読、ありがとうございました。)